

---

農地を守るために。

きょう、大きな新聞記事になっています、「虚偽の公文書化」ということで、非常に取り上げられているんだなというのでびっくりしたんですけども、この問題点を私は質問したかったんです。

行政担当とお話ししたわけですが、やっぱり一つの個別の除外申請をもとにこれは進められております。やはりきちんと山城地区の農業地域整備計画を見直す、その方法でしていただきたいというふうに思います。

ですので、優良の農地を守る市として姿勢を持った上で整備計画全体の見直しをフローチャートなり、その進め方なりをきちんと確認して広報した上で、

個別の問題について除外申請を受けるなりをした上で農業委員会等に諮っていき、そういう進め方が望ましいというふうに指摘をしたいと思います。

それについて、はしょった質問で申しわけないんですけども、今の段階でこのように大きく取り上げたことに対して、進め方の間違いはなかったのかどうか、そこを聞かせてください。

○議長（中野 重高） 建設部長。

（建設部長 炭谷 育夫君登壇）

○建設部長（炭谷 育夫） 建設部長でございます。

農業振興地域の整備に関する法律第2条で「土地の自然的条件、土地利用の動向等地理的・社会的動向を踏まえまして、国土資源である土地の農業上の利用と他の利用との調整に留意して、必要な条件を備えた農業地域を保全し形成すること並びに当該農業地域について農業に関する公共投資、その他農業振興に関する施策を計画的に推進すること」と位置づけまして、さらに同法第8条で「知事が指定した農業振興地域の区域内にある市町村は、農業振興地域整備計画を定めなければならない」というふうに定められております。

このことから、木津川市総合計画に即し、都市計画法等、法令のまちづくり方針と調整を図り、関係部局と協議・調整の上、木津川市が主体的に策定することとしております。

また、整備計画書の中では、土地利用の制限に係る農用地指定や受益者負担が生ずる事業計画を定めることとなりますので、農業者や農業委員会等農業団体の意見を広く聴取し、策定、または改定することが必要と考えております。

新聞に載りました農用地除外の要望にかかわる農振農用地の見直し手続につきましては、農業委員会、土地改良区の意見を聞き、農用地の除外の手続を行っているものでございます。

以上でございます。

○議長（中野 重高） 建設部長。

（建設部長 炭谷 育夫君登壇）

○建設部長（炭谷 育夫） 失礼をいたしました。

先ほど、きょうの新聞の内容につきましてのご質問でございましたが、これにつきましては、農用地除外の要望をされた方々のヒアリングによりまして、そのヒアリングによった内容につきまして、農業委員会なりJA、また土地改良区の方へ意見を求めたわけでございますが、農業委員会なり土地改良区の方の意見の中で、「20年以上にわたり耕作をされていない」というような文言がありました。委員の方々から、「それは違った形でしょう。現地ではもう少し農地が耕作されている部分も一部ありますよ」というような意見をいただき、これにつきまして現地を調査をした結果、そういうような農地も見受けられましたので、農業委員会の方で改めて新規をしていただくために、その文言については間違っていることを訂正をさせていただきまして、その農地除外の新た

な方向に向けまして、その内容につきましておわびをし、訂正をしながら、新たな内容につきまして審査をいただきまして、その結果、昨日でございますが、農業委員会におきまして農用地除外の農業委員会としては認めるというようなご意見をいただいたところでございます。

あの「20年以上にわたる耕作をされていない」と、この文言につきまして、おわびをいたしましたし、状況につきましても委員会の中で十分に説明をさせていただき、皆さん方の同意を得た後、文言につきまして訂正をさせていただき、その訂正した後に審議をしていただいたということでございますので、あの文言については少し違った形で報道されているのではないかというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（中野 重高） 呉羽さん。

（呉羽 真弓君登壇）

○8番（呉羽 真弓） 住民からの要望があった1カ所だけを取り上げているというのが問題点。

○議長（中野 重高） 呉羽さんに申し上げます。

申し合わせによる持ち時間が終わりましたので、発言を許しません。

○8番（呉羽 真弓） ありがとうございます。

○議長（中野 重高） ただいま12時03分、13時00分まで休憩します。

午後0時03分 休憩

午後1時00分 再開

○議長（中野 重高） ただいま13時、休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。

3番、山本喜章さん。

（山本 喜章君登壇）

○19番（山本 喜章） 19番、山本喜章でございます。

通告書に基づきまして、2件の問題について質問をさせていただきます。

1点目は、午前中も呉羽議員の方から質問がありましたが、重複するところもあろうかというふうに思いますけれども、丁寧にご回答いただきますように、よろしくお願いを申し上げます。

当尾小学校問題についてであります。現在の当尾小学校は、昭和50年に地域の議会議員を中心として各種団体の代表者から、当時約30人ほどの当尾小学校建設委員会が設立されました。老朽化する当尾小学校の校舎の建てかえに奔走したわけでございます。

建設促進運動がそれから始まりまして、加茂町の教育委員会では、平成2年、学校施設検討委員会というものを立ち上げられまして、これからの中・小学校の施設がどうあるべきかというところで1番目に上がってきたのが当尾小学校の改築問題でございました。それが平成3年に町長に答申をなされたわけでござ